

平成24年度 県土整備部環境配慮事例報告書

事業主管課	道路総局道路整備課
実施機関	県土整備部(美馬)

【事業の概要】

事業の種類	道路の整備	一般国道、県道、街路
事業箇所名	美馬市脇町共進～新町	
事業の規模・状況	5.1 km	中規模事業 施工段階

【事業の目的及び概要】

現況の鳴門池田線は、美馬市脇町の中心商店街を通過しており、幅員狭小で、車両の対向等に支障をきたしている。さらに、歩道もないことから、自転車歩行者が危険にさらされている状況となっている。このため、当該区間においてバイパスを計画し、その整備に着手した。平成23～24年度は、ニューマチックケーソン工法により曾江谷川渡河橋の下部工事を施工した。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
○	○						○		

【特に配慮した環境要素と実施事項】

- ニューマチックケーソン工法による曾江谷川渡河橋下部工事において、周辺環境への対策として、
- ①漏気対策として、工事が周辺地下水や地中空気及びばす影響を把握するため、圧気前後に、工事箇所周辺の井戸の地下水位、酸素濃度、水質等の調査を行った。
 - ②工事現場の近隣に福祉施設があることから、空気圧縮機を防音ハウスで覆う、機装機材周囲に防音シートを設置、クローラクレーン稼働箇所にはゴムマットを敷くなど、騒音振動の発生を抑制した。
 - ③光害対策として、屋外照明に指向性の強い光害対策型投光器を設置した。
 - ④排ガス対策として、排出ガス対策型建設機械を使用した。

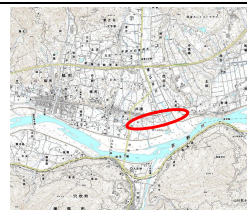
【目標に対する達成状況】

- ①井戸調査結果では、工事による影響は認められなかった。
- ②夜間作業中においても、騒音振動を調査し、関係条例の基準値以下であることを確認した。

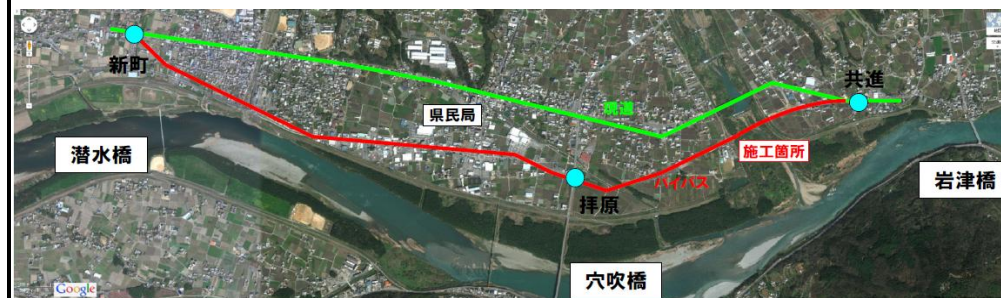
【実施事項に対する評価】

実施者	橋梁下部工事の周辺環境への影響を把握するために、井戸調査及び騒音振動調査を実施したが、工事の影響は認められなかった。
主管課	橋梁下部工事の周辺環境対策として、防音効果の高い資材を使用することなどにより、施工機械から発生する騒音・振動を軽減するなど、周辺住民等の生活環境の確保が図られている。

位置図・平面図等



美馬市脇町共進～新町
主要地方道鳴門池田線バイパス建設事業



写真、図面等

工事箇所 全景



井戸調査



騒音・振動調査



防音シート

